

電子情報通信



キーワード：サイバー犯罪、プロファイル分析、脅威分析、情報セキュリティ対策

サイバーインテリジェンス・情報セキュリティ

経営学部 経営学科 教授

針尾 大嗣 HARIO Daiji

研究の内容

当研究室では、情報通信ネットワークを基盤として活動を営む現代企業・消費者の脅威となっているサイバー攻撃やサイバー犯罪による各種セキュリティインシデント対応のためのサイバーインテリジェンスについて、国内外の専門家との連携をもとに研究を進めております。サイバーインテリジェンスとは、サイバー攻撃者の手口、能力、関連組織の動向についての情報を、収集、評価、分析を行うための一連のプロセスや体制のことであり、これにより将来の脅威へ備えます。このサイバーインテリジェンス研究のなかでも特に、サイバー攻撃者のアトリビューション（意図/動機、能力の分析による攻撃者の特定）に用いる分析モデルの開発に注力しています。また近年注目を集めているAI、暗号資産、メタバース（3次元仮想空間）、NFT（非代替性トークン）、ダークウェブといった新たな情報通信技術が利用されている最新のサイバー犯罪動向についても注目し、これらの情報を警察機関、自治体、民間企業などへ提供しています。

産学連携・社会連携へのアピールポイント

自社のセキュリティ強化のための従業員や関係会社社員を対象とした情報セキュリティ教育、サイバーレジリエンス（サイバー攻撃を受けた後の活動復旧に必要な仕組みや能力）強化のためのアドバイス、SNS炎上など自社のレビュー・リスクへの対応策の検討ならびに関連調査が可能です。またゼミ生らと共に地元小学校や保護者向けのサイバー犯罪防犯教室を開いています。

研究室ホームページ（針尾 大嗣）

URL : <https://www.hariolab.net/>

